

Pensée

(令和2年度)

東京都立南多摩中等教育学校

1 目的

本授業は WWL コンソーシアム構築支援事業の一環として、文理融合で社会的事象に深い思考をすることを目的とした学校設定科目です。

2 実施学年等

- 実施学年 6 学年（今年度は 139 名） 1 単位
- 使用教材 「アプローチ倫理資料 PLUS」（とうほう）
- 授業形式 2 クラス合同（授業場所は視聴覚室および各 HR 等）
- 授業の目標・評価方法

- ・ 正解のない与えられた課題に対する答えを導きだすために思考し、討論することで自己の思考力を鍛え、創造力を育成する。
- ・ 他者と議論し、答えを作成することで協働力、協働的想像力を育成する。
- ・ 社会に存在する課題についての理解を深める。

3 学習方法

- (1) 倫理的、哲学的な課題に対して自分自身で思考する。
- (2) 情報を収集して、より高度な答えを思考していく。
- (3) 他者と議論する。
- (4) 他者と協働して解答を導く。

4 評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点① 話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。				
観点② 書くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができている。				
観点③ 読むこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。				
観点④ 思考し、判断すること 他者と協働的思考をする	さまざまな情報や自己の経験から、課題に対して思考し判断する。 他者との議論を通じて、課題解決を図る。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	授業状況観察	○	○	○	○
	課題などへの取り組みと提出状況		◎		◎
	振り返りアンケートへの回答状況		◎		◎
	最終的成果物	◎	◎	◎	◎

5 令和2年度授業一覧

	日付	授業内容	備考
1	6/30	出生前診断	事前動画配信
2	7/7	代理母出産	
3	7/14	思考実験&思考実験を作る	
4	8/25	脳死と臓器移植	
5	9/1	安楽死と尊厳死	
6	9/8	臓器提供意思表示カードPR 動画作成①	
7	9/15	臓器提供意思表示カードPR 動画作成②	動画はアップ
8	9/22	生命倫理まとめ	小論文作成
9	9/29	環境倫理ガイダンス	
10	10/6	マイクロディベート①	
11	10/20	マイクロディベート② 米大統領選	
12	10/27	環境倫理 未来倫理 動物解放論	
13	11/10	ディベート準備作業	
14	11/17	ディベート① 原発の是非	各教室
15	11/24	ディベート② 自然主権の賛否	各教室
16	12/1	ディベート③ 工場的畜産の是非	各教室
17	12/8	環境倫理まとめ	小論文作成

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりシラバスで示した内容を変更して実施しました。

倫理課題としては「生命倫理」と「環境倫理」の2つから各テーマを設定して、テーマの把握、思考、他者の意見を知る、再思考のサイクルを授業内で実施しました。

生徒の活動としては、考える、書く、伝える、聞く、表現することで、思考の深化、多様な視野の獲得を図るように授業設計をしました。

*学校休業中は生命倫理に関する事前学習課題をClassiで配信し、期限までにClassi上に提出することを求めました。

*第1回目の授業は学校休業中であったため、授業動画をClassi上に配信し、生徒はそれを視聴して、課題をClassi上に提出。提出された生徒のコメントを授業当日に配布し、生徒はそれを読み、自分の意見を再構成する形をとりました。

(感染予防のため、生徒同士のディスカッションができなかったため)

*思考実験は既存の思考実験テーマについて、自己の考えを出した後に、ディスカッションして、自分の意見を再構成。また、新たな思考実験を考えることで思考の深化を図りました。

*ビデオ作成は6名1グループで生徒自身の機材で撮影・編集、Classiへのアップロード

生徒は作品を視聴して、優良作品を評価しました。

*JETによるアメリカ大統領選挙については授業の冒頭、オールイングリッシュで大統領選挙の仕組み、投票方法、投票用紙の説明および2人の候補についての良い点、悪い点をコメントしてもらった。

6 授業評価

■生徒の授業評価（択一式）

Pensee 生徒による授業評価					
Q1 授業を通じて生命倫理や環境倫理等に知識は増え、理解は進んだと思いますか。				単位%	<p>知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 知識が増え理解が進んだ ■ 知識が少し増え、理解も少し進んだ ■ 授業以前と変化しなかった
クラス	知識が増え理解が進んだ	知識が少し増え、理解も少し進んだ	授業以前と変化しなかった		
A B組	68.8	31.3	0		
C D組	57.1	39.7	3.2		
Q2 授業を通じてあなたの思考力や判断力は能力が伸びたと思いますか。				単位%	<p>思考力判断力の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 思考力・判断力が多いに伸びた ■ 思考力・判断力は少し伸びた ■ 授業以前と変化しなかった
クラス	思考力・判断力が多いに伸びた	思考力・判断力は少し伸びた	授業以前と変化しなかった		
A B組	40.8	53.1	3.1		
C D組	47.6	47.6	4.8		
Q3 授業でのディスカッション等を通じて、あなたの思考力や判断力における視野は視点は広がりましたか。				単位%	<p>視野の広がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 視点・視野は大いに広がった ■ 視点・視野は少し広がった ■ 授業以前と変化しなかった
クラス	視点・視野は大いに広がった	視点・視野は少し広がった	授業以前と変化しなかった		
A B組	57.8	39.1	3.1		
C D組	50.8	46	3.2		
Q4 授業を通じて他者にあなた意見を伝える表現力は高まりましたか。				単位%	<p>表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 表現力は大いに高まった ■ 表現力は少し高まった ■ 授業以前と変化しなかった
クラス	表現力は大いに高まった	表現力は少し高まった	授業以前と変化しなかった		
A B組	42.2	56.3	1.6		
C D組	36.5	54	9.5		
Q5 授業を通じて他者との協働力は高まりましたか。				単位%	<p>協働する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 協働する力は大いに高まった ■ 協働する力は少し高まった ■ 授業以前と変化しなかった
クラス	協働する力は大いに高まった	協働する力は少し高まった	授業以前と変化しなかった		
A B組	53.1	43.8	3.1		
C D組	50.8	41.3	7.9		
Q6 授業を通じて社会や社会的・倫理的課題への関心は高まりましたか。				単位%	<p>社会的関心</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大いに高まった ■ 少し高まった ■ 授業以前と変化しなかった
クラス	大いに高まった	少し高まった	授業以前と変化しなかった		
A B組	60.9	35.9	3.1		
C D組	55.6	41.3	3.2		
Q7 Penseeの授業で一番関心を持ったテーマを1つ選んでください。					
	A B 組	C D 組			
出生前診断	15.6	11.1			
代理母出産	3.1	4.8			
脳死と臓器移植	10.9	9.5			
安楽死と尊厳死	17.2	33.3			
思考実験	18.8	25.4			
寛容倫理全般	10.9	3.2			
原発の是非	3.1	3.2			
自然物の主権	7.8	3.2			
工場の畜産	12.5	6.3			
Q8 授業方法であなたが最も積極的に取り組めたものを1つ選んでください。					
	A B 組	C D 組			
ディスカッション	28.1	46			
マイクロディベート	9.4	7.9			
ディベート	23.4	20.6			
記述・論述	25	14.3			
ビデオ作成	14	9.5			
その他	0	1.6			
Q9 授業形式で望ましいものを1つ選んでください。					
	A B 組	C D 組			
1クラス単位	51.6	69.8			
2クラス合同	42.2	28.6			
4クラス合同	6.3	1.6			

■授業評価（択一式）の分析

今回の授業アンケートでは、学力の3要素「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「他者と協働して学ぶ力」と社会的問題への関心、授業そのものへの評価を択一式では調査しました。

① 知識理解

この授業では講義はほとんどせずに、事前学習課題と各授業でのガイダンスが知識を得る構成であった。

AB組では100%、CD組では96.8%の生徒が生命倫理・環境倫理への知識が増え、理解が進んだと回答している。これは授業を契機に生徒が自主的に調査したり、他者とのコミュニケーションにより獲得したものと考えられる。自主的な学びを促す授業の目的は達成できたと考えられる。

② 思考力・判断力・表現力

AB組では93.9%、CD組では95.2%の生徒が授業以前よりも思考力・判断力が伸びたと回答している。

本校生徒はこれまでの教育活動で、思考力や判断力は高めてきたと考えられるが、このような高い回答になった要因は次のように考えられる。設問3ではディスカッション等他者とのコミュニケーションによって視野が広がったという回答がAB組で96.9%、CD組で96.8%となり、他者との意見交換が思考を深化させた。本授業の最大の狙いは他者とのコミュニケーションにより自己の思考を深めることにあったので、良好な評価を得られた。

表現力に関しては、本校生徒はすでに他者へのプレゼンテーション能力は身に付けていると思われる。

AB組で98.5%、CD組で90.5%が高まったと回答している。これまであまり考えたことのない課題を他者に伝える難しさを経験したことで、表現力は向上したと回答したのではないかと考えられる。

③ 他者との協働力

AB組で96.9%、CD組で92.1%が高まったと回答している。設問8で生徒が積極的に取り組めた授業方法として、マイクロディベート・ディベート・ビデオ作成という他者と協働力を必要とする項目の回答がAB組で46.8%、CD組で38%となっている。自己の思考を深めるだけでなく、授業方法の工夫により他者と協働することで生徒同士の思考を高めることができたと考えられる。特にディベートは、テーマも難しく他者との協力・役割分担が不可欠であったことで効果が高かった。(AB組で23.4% CD組で20.6%)

④ 社会的問題への関心

授業を通じて、社会的・倫理的問題への関心の高まりは、AB組で96.8%、CD組で96.9%となっている。

生命倫理、環境倫理について、生徒が日常的にあまり考えないテーマ、これまで深く考えたことのないテーマを生徒に提示したことが、様々な問題への関心を高めたと考えられる。

また、知識注入型の授業でなかったことにより関連事項について自ら調べるといった行動が多くなったことが影響していると考えられる。

⑤ 関心の高いテーマ

AB・CD組ともに、出生前診断、安楽死と尊厳死、思考実験が関心の高いテーマとなった。

出生前診断は臨時休業中の動画配信で課題に向き合ったことで関心が高かったと考えられる。

安楽死と尊厳死については、ニュース等でも取り上げられるテーマでもあり、新型コロナウイルス感染症で連日の報道で死が話題になったことが影響したと考えられる。

思考実験は現実ではありえない究極場面を考えることで、自分の価値観・人生観・社会観が問われたことに要因があると考えられる。また、他者との見解が明確であったことも関心を高めたと思われる。

⑥ 授業形式・授業方法

積極的に取り組めた授業方法ではAB組、CD組ともディスカッションが最も多かった。本来この授業の形式はディスカッションを主体と考えていたが、新型コロナウイルス感染症の問題から実施が難しい面があった。

しかし、生徒にとって他者と直接意見のやりとりすることが、生徒の意欲を高めると考えられる。

次に評価がたかったディベートも評価が高かった。これも他者と直接やりとりする中で、学びを深めると

いう点に効果があったと考えられる。

次年度もディスカッションをメインに、1つのテーマのまとめりごとにディベートする形式を設定していきたい。

授業形式では1クラスという意見が多かった。これは視聴覚室では提示資料が見にくいこと、仲がよいもの同士で固まってしまったという意見が多く見られた。また、2教室に分かれた授業では教員の目が届かない、Zoomの活用に慣れないということもあった。

AB組では42.2%生徒が2クラス合同を望んでおり、クラスを超えた授業形式も一定程度効果があったと考えられる。

■生徒アンケート（記述式）

① 十の意見

- ・出生前診断の授業は、特に深く考えさせられた。ビデオで実際の人の考えを聞いたのが大きいと思う。また、自粛期間中にビデオを見たので、家族と話し合う時間があったのもよかった。
- ・ただ資料を読んで感想を書くというような道德の延長線上の授業ではなく、ディベートやビデオ作成、思考実験など、様々な形で自分で学習できたのがとても良かった。
- ・倫理的な課題を真剣に考える機会はあまりないので良かったと思った。
- ・六年になるまで本格的に公民をやったことがなかったので楽しかった。もっと前からやりたかった。
- ・ディベートを行ったことが一番印象に残っている。最初に行く班だったので、データなどを集める時間が少なく大変だったが伝えたかったことは言えたと思うので良かった。
- ・回りの人とディスカッションして物事の理解が深まった。
- ・医療系に進みたい身として、生命倫理はかなり印象深かった
- ・社会に対する関心が高まった
- ・どのテーマも関心を持てるもので深く考えるのが楽しかった。
- ・現代にある問題について考えることができたので自分のためになったと思う。ディベートや動画作成など、グループの人と考えるのは視野が広がって楽しかった。
- ・解決しにくい問題について考察するのは難しくもあり面白くもあった。
- ・普段自分の意見をあまり言わない人が多い中、意外と色々な意見を考えていることがわかった。
- ・ディベートを通して自分の記述力が上がった気がしたし、質疑反論と最終立論の際にいかに相手を言い負かせることが出来るかを考えることが出来たので有意義な時間となった
- ・他人と環境問題や世界における問題など意見を交換する機会があまりなかったなので、授業を通して問題と向き合って自分の意見を確立して、友達と話し合って自分の視野を広げられたのがいい経験になった。
- ・他のどの授業よりも倫理などの点から思考力が鍛えられたと思う。
- ・倫理について授業で深く考える機会が少なかったなので、Penseeの授業で考えを深められて良かった。
- ・動画作成が楽しかった
- ・Penséesの授業を通して思考力が伸び色々なことに関して考えることが出来たのでとてもいい授業でした。また最新のニュースなどについても理解を深めることができたので良かったです。

- ・物事を多角的に見ることができた。
- ・僕はこの授業を通して人と繋がることの大切さとパンセという授業の本質を掴めた。
- ・YES か NO かで答えられない問題を解いたこと
- ・日頃耳にはしていても目を背けがちな問題について授業を通してよく考えることが出来た。ニュースや新聞の記事に目を向けると自分の知らないところで色々な問題が起こっていることがわかった。
- ・安楽死や尊厳死や脳死の考え方が難しかった
- ・ディベートが楽しかったです。 普段考えもしないテーマについて調べて立論をすることで、知らなかったことを沢山知れました。
- ・受験に使える力が身についたと思う
- ・普段は見ても見ぬふりをしているような難しい問題に取り組むことで自分なりの解釈をすることができ、自分のひとつひとつの行動を改めようという気持ちになった。 また、解決策をだし、実行に移すことが難しい問題がこんなに沢山あるのだと知り、驚いた。
- ・同じことでも人によって考え方が異なり色んな視点から物事を考える力がついたと思う。特に思考実験は様々な考えがありとても面白かった。
- ・普段はあまり深くまで考えないようなことを、ディベートや意見記述を通して考えるきっかけとなった。
- ・最初は「倫理的な問題」と一言で言われてもどんな問題かよくわからなかったが、パンセの授業を通して倫理的な問題とはどのような問題なのか知ることができた。倫理的問題に対する自分の意見を見直すきっかけにもなったと思う。
- ・人の死について考えることなど、重い内容のものが多かったが、人生の中で学んでおかなければならないことだったので良かったです。
- ・友達との会話に今までは出てこなかったような安楽死などの話がでてきたり、それについて授業外でも話せたりできて、友達の考えと自分の考えが案外違うということに気づけたのが面白かった。
- ・生命倫理分野は今後自分の進路にも関わってくるもので、すごい視野が広がって多様な考え方ができるようになったと思う。
- ・世界史には出てこないような世界の情勢を知ることができて面白かった。
- ・レベルの高いディベートができた。 出産の話や臓器移植の話は重い内容で考えさせられるものがあつた。
- ・倫理の問題をあまり考えたことがなかったため、とても良い機会だった。ビデオだったり、ディベートだったり他の班の活動内容も見るといろいろな考えた方があって面白いと思った。

② 改善点 ーの意見

- ・全体で自分たちの考えた意見を発表する場がもっとあっても良いと思う。
- ・思想とか宗教とか、もっといろんな範囲を取り扱ってほしい。
- ・ディベートの準備時間が欲しかった。
- ・大きい教室で2クラス合同だったのでどうしてもスライドが見えない時があつた
- ・作文は正直しんどかったです
- ・先生がふたつのクラスを行き来しているよりも普段の現社のように1クラスずつの方が良かったと思う。内容は私にとっては興味深いものが多く良い1年だった。
- ・もう少しみんなと話し合う時間が取れば良いかなと思います。

- ・ディベートを行うのであれば、準備が必要だし、期末テストや共通テストまでの日も短いので、もっと早期の段階で行うべきだと思う。
- ・せっかく他クラスと合同でやる授業なので普段全く話さないような人ともディスカッションすべきだと思う。(くじ引きなどで無作為に席を決める等)
- ・2クラス合同で視聴覚でやると、映像が見れなかったり結局好きな人同士で固まってしまうので、クラス内の班やる方が色んな人と関われると思った。
- ・二学期後半にディベートなど準備に時間がかかるものは受験勉強の妨げになるので、別の時期だといいと思います。小論文や面接がない人も多いので、受験直前は勉強に集中したいです。
- ・来年からは廃止した方が生徒のためになると思います。自分はこの授業において何も成長したという実感を得られませんでした。正直に言ってしまえばストレスでしかありませんでした。学校側も様々な思慮の上 pansee という科目を週に1単位入れたのでしょうが、受験生にとっては、ケージに入れられ搾取される家畜の行く末を案じるよりも、英単語を1つでも多く覚えることの方が大切なことなのです。確かに倫理について学ぶことは教育において大切なことだと思います。前期生、はては後期においても4、5年生であるならば pansee の授業は諸生徒にとってプラスになることは間違い無いでしょう。ですがやはり、私は受験期において pansee を履修する意味が理解できません。どうか、進学校を自称する本校がこれ以上受験生の50分を奪わないことを願います。
- ・他クラスとは結局ディスカッション等で組まなかったし、組んだとしても普段よく話す人の方が話し合いが活発になると思うので1クラスずつで良いと思う。かといって教室に分かれて授業を受けた際は指示が通りづらかったり生徒だけで締まりがなかったりと普段より授業が充実していなかった印象があるので、可能ならば時間割をずらして先生に週4回授業を行っていただいた方が良いでしょう。
- ・ビデオ作成よりディベートの方が考えが深まると思った。
- ・前のスライドが見づらい時もあったので、スライドがスマホでも見れるようになれば良いなと思いました。
- ・授業をクラス単位のみにしてほしい。
- ・ディベートのテーマがちょっと難しかったです。

■生徒の授業評価（記述式）分析

① 感想

択一式のアンケートにも見られたが一つのテーマについて考えることができたこと、日常的に考えない問題について考えることができたこと、他者の意見を知ることについて評価する声が多かった。

テーマの設定や他者とのコミュニケーションをする授業方法は授業の狙いを達成する上で効果があったと考えられる。

② 改善点

- ・1クラスでの授業を希望する生徒が多い。
- ・PowerPoint 等資料の改善の意見
- ・全体での意見共有の時間の必要性、ディベートでの準備時間の確保を求める意見が多かった。
- ・倫理に関する学習する時間の確保を求める意見があった。
- ・ディベートが2学期期末になったことで、受験学習への影響があった意見が多い。
- ・Pensee の授業そのものへの疑問、受験生にとっては無用という意見があった。

授業写真



6月30日第1回授業

臨時休校中に Classi にアップした

「出生前診断」に関する授業動画を視聴し、出生前診断について自己の考えまとめて、Classi に提出。

この授業では全生徒の意見を印刷し、生徒は他の生徒の意見を読み、自分の意見を再構成した。

(コロナ感染症予防のためディスカッションの代わりに他者の意見を読むことにした)



Zoom を使って 2 教室同時授業

授業テーマを説明後、各自が考えをまとめる。

その後、距離を保って、他者と意見交換。他者との意見交換でさらに思考を深める。



臓器提供意思表示カードの普及を図るためのビデオを 6 名 1 チームで作成。

まずアイデアを出してから、撮影、編集、Classi へのアップ
生徒は動画を視聴し、優良作品を評価



ビデオ作成風景

マイクロディベート

班内で、肯定・否定に分かれ、それぞれの主張を展開



- ①環境負荷の高いペットボトルは廃止すべき
- ②残渣の多く出る中学生の給食は廃止すべき
- ③地球温暖化防止のため、24時間営業は禁止すべき
- ④家庭や事業所から出る生ごみはすべて回収して資源化すべき
- ⑤日本は資源の効率的活用のため、サマータイムを導入すべき
- ⑥より効果的な再生エネルギーは？ 太陽光 VS 風力
- ⑦化石燃料使った自動車には電気自動車の10倍の税金をかけるべき
- ⑧動物の権利を尊重するために、すべての動物園は廃止すべき
- ⑨商業的なペットの売買は禁止すべき
- ⑩原子力発電所は2030年までに廃止すべき



10月

二人のJETによる、アメリカ大統領選挙についての解説授業
オールイングリッシュで大統領選挙の仕組み
投票用紙を示して、投票方法を説明。
民主・共和両候補の良い点・悪い点を説明



ディベート「原発の是非」
肯定側立論



ディベート
立論後、作戦タイム



ディベート
質疑後、最終立論

授業に関する資料

- ① 事前学習シート 生命倫理 環境倫理
- ② 学習シート
- ③ 思考実験シート
- ④ マイクロディベート資料
- ⑤ ディベート資料
- ⑥ PowerPoint 授業資料「生命倫理」
- ⑦ 生命倫理 環境倫理まとめ課題

「アプローチ倫理資料 PLUS」 P280～283 を参考にして以下の事項についてまとめなさい。

A、クローン技術（その内容と人類への適用）

B、遺伝子操作（農畜産物と人類への適用）

C、医療と倫理

・ パターナリズム

・ インフォームド・コンセント

・ 医療倫理四原則

・ ホスピス・ターミナルケア

・ QOL

・ SOL

D、人間の死

・ 脳死と臓器移植

・ 尊厳死と安楽死

●事前アンケート 医学や科学技術の進歩は人類を幸福にすると考えますか。下記より1つ選んでください。

ア、人類の幸福につながる イ、幸福につながるが問題点もある ウ、人類の幸福にはつながらない

エ、現時点では判断できない オ、わからない・どちらとも言えない。

「アプローチ倫理資料 PLUS」P284～287 を参考にして以下の事項についてまとめなさい。

A、地球温暖化対策

・京都議定書（1997年）

・パリ協定（2015年）

B、環境倫理学

C、ピーター・シンガー「動物解放論」

D、沈黙の春（レイチェル・カーソン）

E、苦海浄土（石牟礼道子）

D、南方熊楠

E、ハンス・ヨナス

●事前アンケート 先進国に暮らす我々は豊かで便利な生活をしているが、地球環境問題との関連でとるべき立場を下記より1つ選んでください。

ア、現在の生活を優先させ環境に配慮する必要はない

イ、現代の生活にも問題があるので環境に配慮する必要もある

ウ、環境への配慮を優先して、現在の生活を見直すべきである（制限や我慢が必要である）

エ、現時点では判断できない

オ、わからない

pensée 学習ワークシート①テーマ ～出生前診断は認められるべきか?～

学校 YouTube に入り、6年 pensée にある「出生前診断」の動画に従って学習してください。

途中で 49 分のテレビ番組を視聴するので、学習には約 1 時間かかります。

動画を見ながら、下記のシートを埋めてください。

6年 _____ 組 _____ 番氏名 _____

★事前整理

出生前診断の利点と問題点

①利点

②問題点

1 課題に対する自己の考え（出生前診断は認められるか、認められないか）

*記入と同時に Classi に配信された「動画視聴前アンケート」に回答してください。

2 1 の意見の根拠・根拠となる資料

3 動画視聴または資料を閲覧

4 動画視聴後に自己の意見に変容があれば記入

*記入と同時に Classi に配信された「動画視聴後アンケート」に回答してください。

5 この課題について考えてみた感想を記入してください。

このプリントは 6 月 30 日の授業時に持参して、提出してください。

pensée 学習ワークシート②

本日のディスカッションテーマ ～代理母出産は認められるべきか?～

6年_____組_____番氏名_____

★事前整理

代理母出産の背景

①利点

②問題点

1 課題に対する自己の考え（実例を見る前の意見）

2 1の意見の根拠・根拠となる資料

3 実例を見た後の自己の考え

4 実例を見て、自己の意見への影響

5 代理母出産を考えてみての感想（医療技術の進歩と生命倫理の観点から）

--

pensée 学習ワークシート③

本日のテーマ ～脳死と臓器移植～

6年_____組_____番氏名_____

★事前整理

脳死と臓器移植登場の背景

①利点

②問題点

- 1 課題① あなたは脳死を「人の死」と認めるか？
ア、認める イ、認めない ウ、どちらともいえない

課題①の回答の根拠・根拠となる資料

- 2 課題② 本人の意思表示がなくとも臓器移植は認められるか？
ア、認められる イ、認められない ウ、どちらともいえない

課題②の回答の根拠・根拠となる資料

- 3 課題③ そもそも臓器移植という医療行為は認められる？
ア、認められる イ、認められない ウ、どちらともいえない

課題③の回答の根拠・根拠となる資料

- 4 脳死と臓器移植について考えた感想

--

pensée 学習ワークシート④

本日のディスカッションテーマ ～安楽死と尊厳死～

6年_____組_____番氏名_____

★事前整理

安楽死と尊厳死の背景

①容認すべき点

②問題点

1 課題に対する自己の考え

2 1の意見の根拠・根拠となる資料

3 他者とのディスカッションの過程

4 自己の意見に変容があれば記入

5 グループとしての最終結論

--

pensée 学習ワークシート⑤

本日のディスカッションテーマ ～環境問題における未来への倫理 動物実験について～

6年_____組_____番氏名_____

★事前整理

I 環境問題における倫理

① 私たちの暮らしと次世代への責任

②

③ 現代文明の功罪

動物実験の必要性と課題

①必要性

②問題点

1 課題に対する自己の考え

① 未来への倫理

② 動物実験

2 1の意見の根拠・根拠となる資料

①

②

3 他者とのディスカッションの過程

pensée 学習ワークシート⑤

本日のディスカッションテーマ ～環境問題における未来への倫理 動物実験について～

6年_____組_____番氏名_____

★事前整理

I 環境問題における倫理

① 私たちの暮らしと次世代への責任

②

③ 現代文明の功罪

動物実験の必要性と課題

①必要性

②問題点

1 課題に対する自己の考え

① 未来への倫理

② 動物実験

2 1の意見の根拠・根拠となる資料

①

②

3 自己の意見に対する反論の想定

①

②

マイクロディベートはディベートを少人数で行うもので、行い方は本来のディベートに準じます。

1 形式

6人一組 肯定側2名 否定側2名 判定者2名 *5人以下の場合は肯定・否定を同数にしてください。

2 進行

- ① 肯定・否定の意見と論拠を考える 審判役は進行の準備 (5分)
- ② 肯定側。否定側双方が3分ずつ立論
- ③ 作戦タイム (3分)
- ④ 肯定側・否定側最終立論 (各3分)
- ⑤ 判定
- ⑥ 振り返り

1日で2回転実施します。

3 ワーク

ワークシート (肯定意見 否定意見 ディベートの流れ 判定 振り返り)

4 判定のポイント

- ① 話し方 (表現力) ② 論理性 ③ 説得力

5 環境倫理に関するテーマ

- ① 環境負荷の高いペットボトルは廃止すべき
- ② 残渣の多く出る中学生の給食は廃止すべき
- ③ 地球温暖化防止のため、24時間営業は禁止すべき
- ④ 家庭や事業所から出る生ごみはすべて回収して資源化すべき
- ⑤ 日本は資源の効率的活用のため、サマータイムを導入すべき
- ⑥ より効果的な再生エネルギーは？ 太陽光 VS 風力
- ⑦ 化石燃料使った自動車には電気自動車の10倍の税金をかすべき
- ⑧ 動物の権利を尊重するために、すべての動物園は廃止すべき
- ⑨ 商業的なペットの売買は禁止すべき
- ⑩ 原子力発電所は2030年までに廃止すべき

Pensee マイクロディベート ワークシート											
					6年_____組_____番氏名_____						
1 テーマ					(年 月 日)						
第1回目											
第2回目											
第3回目											
2 立論											
					肯定						
					否定						
第1回目											
第2回目											
第3回目											
3 判定											
					メモ		判定		判定理由		
第1回目							肯定派	否定派			
第2回目							肯定派	否定派			
第3回目							肯定派	否定派			
4 振り返り											
* 進行											
① 肯定・否定の意見と論拠を考える 審判役は進行の準備 (5分)											
② 肯定側。否定側双方が3分ずつ立論											
③ 作戦タイム (3分)											
④ 肯定側・否定側最終立論 (各3分)											
⑤ 判定											
⑥ 振り返り											

Pensee Debate を行う

チームは A・B 組 C・D 組混成可能。ディベートは 11 月 17 日 24 日 12 月 1 日 各クラスで実施

●ディベートとは

- ①明確な議題について②肯定・否定の側に立つ参加者が③公正なルールの下で④合理的な議論によって⑤第三者を説得しようとする過程とすることができます。

また問題の賛否両論を考慮して、合理的論理的な解を探究し、それを弁論によって伝達し擁護する過程ともいえる

●今回のディベートの狙い

「**審判団のメンバーを説得し、多くの支持を集めるような主張を行う**」

自説の主張ではなく、合理的論理的な主張を展開して説得することである

●ルール

- ①主張は「意見+根拠」の形で行う、また簡潔に行う
- ②主張は審判団を説得するために行う
- ③反論は反対側の主張に対して行う
- ④主張は合理的論理的に展開する
- ⑤反対側を非難してはいけない

●ディベートの進行

肯定側立論 (3分) → 否定側立論 (3分) → 作戦タイム (5分)

→ 否定側質疑 (3分) → 肯定側質疑 (3分) → 作戦タイム (5分)

→ 否定側最終弁論 (3分) → 肯定側最終弁論 (3分) → ジャッジタイム (3分)

→ 振り返り

●役割

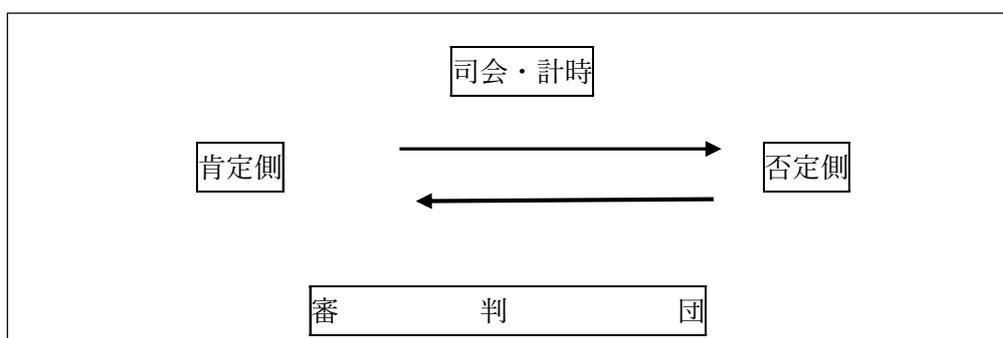
肯定側・否定側 (各 5~6 名) 司会・計時 (5~6 名) 司会進行開票 (1 班) 審判団 (3 班 15~18 名)

司会進行開票と審判団は議論しないチームが担当します。

●ワークシート

- ①発表者用
- ②審判団用

●配置



Pensee Debate① 環境倫理

論題1 地球温暖化を止めるためには温室効果ガスを発生させない原子力発電を増やすべき

- ・肯定側・・原子力発電を増やす
- ・否定側・・原子力発電は増やさない

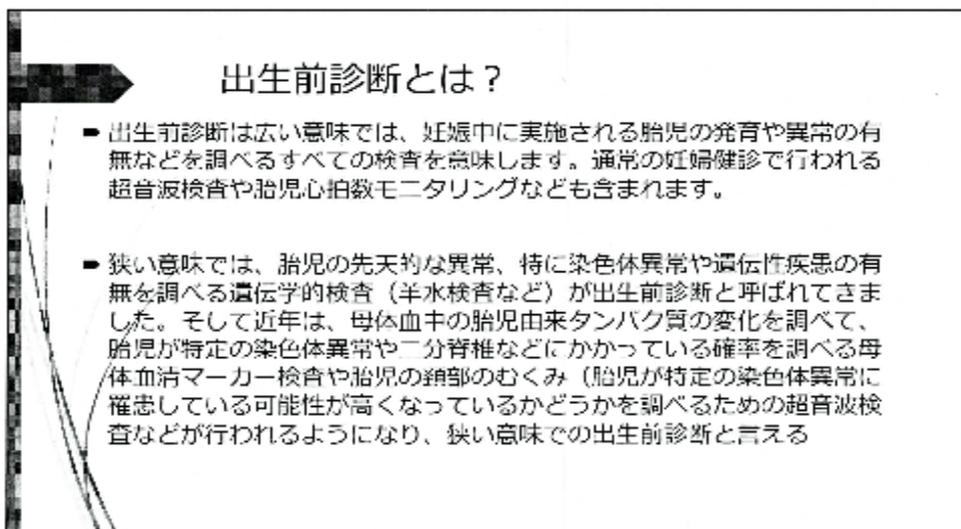
論題2 環境破壊をもたらす開発に対しては自然物にも生存権を認め、裁判の主体となることを認めるべき

- ・肯定側・・動物や植物にも生存権が存在する
- ・否定側・・自然の生存権は認められない

論題3 動物に苦痛を与える工場的畜産は制限すべき

- ・肯定側・・食肉のため過度の工場的畜産は制限すべき
- ・否定側・・食肉需要に応えるため工場的畜産は制限すべきではない

Debate評価表										
						6年 組 番氏名 _____				
月 日		Debateテーマ _____								
●Memo										
立論	肯定側					否定側				
質疑	肯定側					否定側				
最終立論	肯定側					否定側				
判定	立論の構成内容	論拠	論理性	表現力	協働性	立論の構成内容	論拠	論理性	表現力	協働性
	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1	3・2・1
合計点数					点					点
判定基準	立論の構成がしっかりしており、内容も客観的である	立論の根拠・データが明確である	立論は論理的に組み立てられている	立論が適切に表現されている	グループ全員が協力してディベートが構成されている	立論の構成がしっかりしており、内容も客観的である	立論の根拠・データが明確である	立論は論理的に組み立てられている	立論が適切に表現されている	グループ全員が協力してディベートが構成されている
	3-優れている	採択判定		評価者コメント						
	2-普通	肯定側	否定側							
	1-やや劣る									



新型出生前診断とは？

- 新型出生前診断（NIPT）は、妊婦さんの血液中に含まれる赤ちゃんのDNA断片を分析することで、赤ちゃんの特定の染色体疾患を調べることができる検査です。
- NIPTのより正確な名称は、「無侵襲的出生前遺伝学的検査」または「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」ですが、母体血清マーカー等と比べて最近開発・導入されたため、国内では「新型出生前診断」とも呼ばれています。

新型出生前診断（NIPT）は、具体的に次の3つの疾患を調べることができます。

- ダウン症候群（21トリソミー）
- エドワーズ症候群（18トリソミー）
- パトー症候群（13トリソミー）
- これら3つを合計すると、胎児の染色体疾患の約7割に相当します。
- 新型出生前診断（NIPT）は、国内では2013年4月から2017年3月までの4年間で48,643名の妊婦さんに受検されています。

出生前診断のメリット

- 出生前診断の目的は「赤ちゃんの状態を知ること」

メリット① 赤ちゃんの状態を知ること、保護者が安心できる。

妊娠期の保護者の不安を解消することができる。
また母親の出産や育児への覚悟を持つことができる

メリット② 赤ちゃんの状態を知ること、事前に準備できる。

赤ちゃんに病気があると分かった場合（陽性）、誕生後の事前準備をすることができる

出生前診断のデメリット

- 出生前診断の目的は「赤ちゃんの状態を知ること」

デメリット① 知ることによって混乱する。

陽性と分かった場合は精神的に不安になる
出産する、出産しないという選択に悩む。
→人工妊娠中絶もありうる

デメリット② 検査ではわからない病気もある。

出生前診断は染色体疾患が主な検査対象ですが、
染色体異常は先天性疾患のうちの4分の1のみです。

デメリット③ 命の選別が起こる

出生前診断をどう考える

- メリット、デメリット、科学技術と倫理という観点から、あなたの出生前診断についての考えをまとめてみましょう。

- ①学習シートに考えをまとめる
- ②Classiのアンケートに入力する

出生前診断の現状を見る

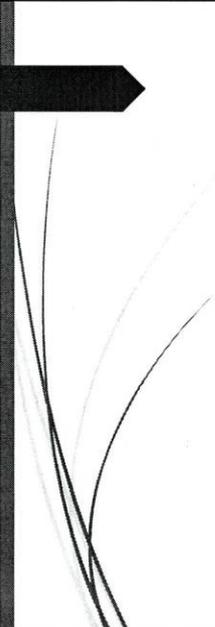
- 次のURLにアクセスして、NHKスペシャル（49分）を視聴してください。
出生前診断の現実について、理解を深めてください。

<https://youtu.be/oPyYnzRsFks>

動画の視聴が終わったら、次のスライドに進んでください。

改めて、出生前診断について考える

- 動画視聴後、出生前診断についてあなたの考えをまとめてみてください。
- ①学習シートに考えをまとめる
②Classiのアンケート（動画視聴後）に入力する



人間のあり方を考える

- 今回の出生前診断について、考えを深めることができましたか。
人間とはなにか、人間のあり方はどうあるべきか

Penséeの共通のテーマは

「人間のあり方を考える」です。次の課題でも、
みなさんの思考を深めてください。

■評価ルーブリック

ICEルーブリック			
I(考え 知識・理解) C(関連付け コネクト) E(展開 他への応用)			
レベル/観点	I(考え 知識・理解)	C(関連付け)	E(応用)
観点の説明	課題の趣旨を的確に捉え、問題意識や主張が明確に伝わる形で考察されている。	裏付けとなる根拠を明確に示し、論理的に一貫し、説得力のある説明がなされている。	適切な段落分け、文体の統一がなされ、誤字脱字や文章表現の間違いがない表現となっている。
A(3点)	課題への理解や問題意識、筆者の主張が明確である。	裏付けとなる根拠が提示され、論理的な説明がなされている。	文章の体裁が整えられ、丁寧に文章表現されている。
B(2点)	課題や問題意識、主張が整理されているが、明確さに欠ける。あるいは他者の意見に沿ったものになっている。	裏付けとなる根拠の提示が不十分で、論理性に欠けている。	文章の体裁を整えたり、丁寧に表現する態度が不十分である。
C(1点)	論点や情報の整理が十分でなく、内容が不十分である。自己の意見が述べられていない。	裏付けとなる根拠の意味を取り違えているなど論理性のある記述となっていない。	文章の体裁を整えたり、丁寧に表現する態度が不十分であり、内容も読み取りにくい文章となっている。
採点			
			TOTAL

Pensee評価ルーブリック			
レベル/観点	テーマ理解	傾聴力	表現力
S(3点)	テーマを十分に理解し、テーマからより踏み込んだレベルで討論に参加した	他者の意見を聞き、それを織り込んで討論に参加した 討論の流れをコントロールできた	テーマより踏み込んだ内容の意見を適切に表現することができた
A(2点)	テーマを十分に理解し、テーマに沿って討論に参加した	他者の意見をきちんと聞き、討論に参加することができた	テーマに沿った自己の意見を適切に表現することができた
B(1点)	テーマを理解がやや浅かったが、討論には参加できた	他者の意見をきちんと聞くことができたが、自己の意見には反映しなかった	テーマに合った意見を発表することができた
C(0点)	テーマを十分理解せずに討論に参加した	他者の意見をあまり理解せずに討論に参加した	テーマに合った意見を発表することが不十分であった
採点			